

★解答はすべて日本語で書くこと。特に漢字表記は正字体(繁体字)または日本の当用漢字体のみを認め、簡体字は減点する。

一 次の文章は、杜甫「羌村三首」である。

1. 全文を正確に書き下し文(訓読文)にせよ。
2. 三つの場面を選んで、その箇所の文学性について、それぞれ論述せよ。

崢嶸赤雲西日脚下平地柴門烏雀噪歸客千里至妻孥怪我在驚定還拭淚世
亂遭飄蕩生還偶然遂鄰人滿牆頭感歎亦歔歔夜闌更秉燭相對如夢寐晚歲
迫偷生還家少歡趣嬌兒不離膝畏我復却去憶昔好追涼故繞池邊樹蕭蕭北
風勁撫事煎百慮賴知禾黍收已覺糟牀注如今足斟酌且用慰遲暮群雞正亂
叫客至雞鬪爭驅雞上樹木始聞叩柴荆父老四五人問我久遠行手中各有攜
傾榼濁復清莫辭酒味薄黍地無人耕兵革既未息兒童盡東征請爲父老歌艱
難愧深情歌罷仰天歎四座淚縱橫

二 次の文章は、白行簡「李娃伝」の一場面である。すべて現代語訳せよ。

生自爾意若有失。乃密徵其友遊長安之熟者以訊之。友曰、「此狹
邪女李氏宅也。」曰、「娃可求乎。」對曰、「李氏頗贍。前與通之者
多貴戚豪族、所得甚廣。非累百萬、不能動其志也。」生曰、「苟患其
不諧、雖百萬、何惜。」他日、乃潔其衣服、盛賓從而往。扣其門、俄
有侍兒啓扇。生曰、「此誰之第耶。」侍兒不答、馳走大呼曰、「前時
遺策郎也。」娃大悅曰、「爾姑止之。吾當整粧易服而出。」生聞之私
喜。乃引至蕭牆間、見一姥垂白上樓、即娃母也。生跪拜前致詞曰、「聞
茲地有隙院、願稅以居、信乎。」姥曰、「懼其淺陋湫隘、不足以辱長
者所處、安敢言直耶。」延生于遲賓之館、館宇甚麗。與生偶坐、因曰、
「某有女嬌小、技藝薄劣、欣見賓客、願將見之。」乃命娃出、明眸皓
腕、舉步艷冶。生遽驚起、莫敢仰視。與之拜畢、叙寒燠、觸類妍媚、
目所未覩。復坐、烹茶斟酒、器用甚潔。久之日暮、鼓聲四動。姥訪其
居遠近。生給之曰、「在延平門外數里。」冀其遠而見留也。姥曰、「鼓
已發矣。當速歸、無犯禁。」生曰、「幸接歡笑、不知日之云夕。道里
遼闊、城內又無親戚、將若之何。」娃曰、「不見責僻陋、方將居之、
宿何害焉。」生數目姥。姥曰、「唯唯。」

三 次の①～⑥六つの事柄について、知るところを日本語でつまびらかに論述せよ。

- | | | | |
|---|------|---|------|
| ① | 建安風骨 | ③ | 張溥 |
| ② | 六才子書 | ④ | 容齋隨筆 |
| ⑤ | 王梵志 | ⑥ | 金沢文庫 |